



&



共働事業
(子どもの居場所づくり事業実行委員会)

子どもたちの夢と希望を醸成する 子どもの居場所づくり事業

共働事業提案制度事業報告会

令和6年5月24日

共働事業提案制度 事業提案

事業の名称：子どもたちの夢と希望を醸成するこどもの居場所づくり事業
～子どもに寄り添うこども食堂～

テーマ型事業

課題テーマ：「子どもの貧困対策」

～すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していける地域をめざして～

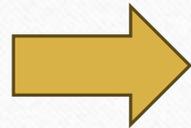
- 市担当課：こども・若者政策課
- 提案団体：特定非営利法人チャイルドケアセンター

子どもの貧困問題

子どもの貧困は深刻な社会問題です。家庭の経済状況によって子どもたちの環境が大きく異なり、教育や健康、将来の可能性に大きな影響を及ぼしています。貧困の連鎖を断ち切るため、社会全体でこの問題に取り組む必要があります。

子どもの貧困の原因

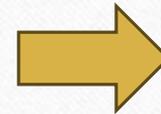
- 家庭環境の影響
- 教育の機会の差
- 社会制度の不備



地域社会の役割

- ・ 地域コミュニティ
- ・ 学校との連携
- ・ ボランティア活動
- ・ 地域拠点の活用

行政と共働



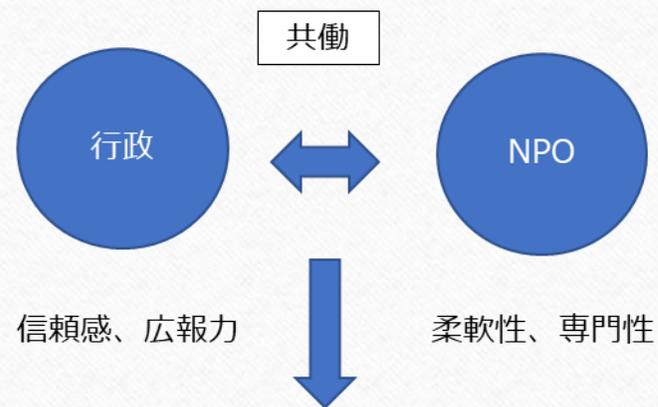
解決方策

- 地域の居場所・つながりづくり
- こども食堂
 - フードパントリー・・・

事業の目的

- すべての子どもたちに、人や社会と関わる力、社会で自分らしく生き抜く力を伸ばす支援を、行政、地域、NPOなど市民の方々と共働で取り組み、**「地域みんなで子どもを守り、育てる社会」**をつくることで、子どもの貧困問題の解消を目指していきます。

共働事業の基本スキーム



多様化する市民ニーズに、スピード感を持って対応し、広範で複雑化する地域課題に向け積極的に取り組む

事業の内容

大野城市こども食堂ネットワークの開催（こども食堂についての情報提供・研修）

こども食堂コーディネーターの設置（運営に関する相談・情報提供）

ひとり親家庭などへのサポート事業（食材配布・アウトリーチ型支援）

大野城市版「こども食堂マニュアル」の作成、活用（支援先へのつなぎ方にも言及）

事業の取組み

こども食堂ネットワーク会議

- 第1回会議 発足式・意見交換
- 第2回会議 事例報告、防災講座

コーディネーター業務

- 公民館訪問・情報交換
- こども食堂相談

実行委員会(11回開催)

ひとり親家庭へのサポート

- おれんじパントリー

こども食堂マニュアルの作成

- 「困りごとを抱えた子ども」などの相談先

第1回 こども食堂ネットワーク会議

令和5年7月24日(月)10:00-11:30 : まどかぴあ 多目的ホール



井本市長の挨拶



㊦コーディネーターの任命
㊧参加者による意見交換



参加者全員の集合写真
(計78名参加)

第2回 こども食堂ネットワーク会議

令和5年12月7日(木)10:00-12:00 : 大野城心のふるさと館 講座学習室



災害時におけるこども食堂の役割について意見交換



ふれあい平野食堂の事例報告
(平野台区 永野元生区長)

コーディネーター業務



こども食堂に出向き、衛生管理や情報発信の手段について情報交換（瓦田公民館）



開設準備の相談（中大利公民館）



福岡県コラボステーションから研修生受け入れ（エフコップ太宰府支所：こども食堂へ食材等を配布）

ひとり親家庭へのサポート

ひとり親家庭へのサポート事業のスキーム



食の応援が必要なひとり親家庭の皆様へ

おれんじパントリー

食材や日用品を無料配布
希望されるご家庭を募集します！

配布場所：①御笠川2丁目 (iroire Company)
②つつじヶ丘2丁目 (ファミリー交流センター)

配布日：月1回程度（上記の場所の1か所で受取り）

配布食材：レトルト食材、飲料水、お米など

こども食堂に寄贈された食材（ふくおか筑紫フードバンク協力）

申込方法：下のQRコードを読み込み、公式LINEに①お名前
②お住まいの地域 ③受取場所の番号 ④子どもの
人数と年齢 以上を記入して、送信してください。
その後、パントリーの情報を送ります。

※申し込みをされた方の個人情報、特定非営利活動法人チャイルドケアセンターが取り扱うこと
になります（この目的以外には使用しません）。

※おれんじパントリーは、ひとり親家庭に限定したパントリーです。このチラシが届いた方のみ、
申し込みができます。

公式LINEに登録
してほしいじよー

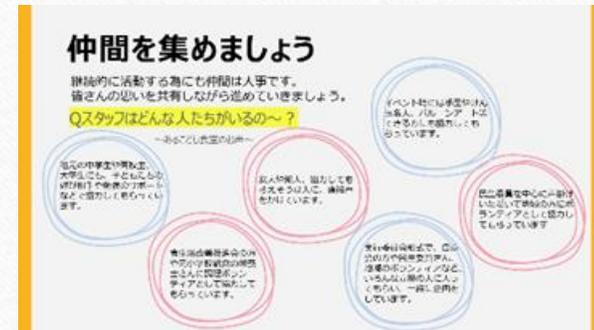
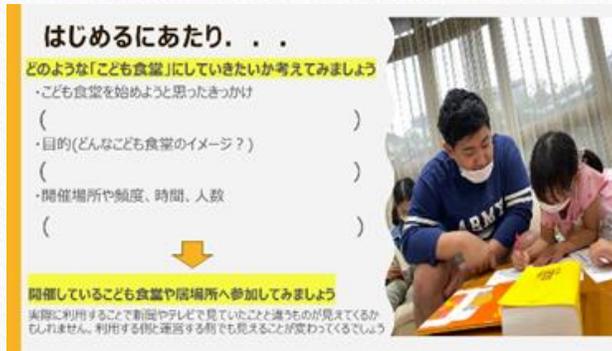
LINE登録ができない場合の連絡先
特定非営利活動法人チャイルドケアセンター
メール:kyoudou@npo-ccc.net
連絡先:092-589-8688

この取り組みは人野城市と特定非営利活動法人チャイルドケアセンターが人野城市児童福祉制度を
活用して「子どもたちの夢と希望を達成する子どもの居場所づくり事業」として行うものです。



- ⑤おれんじパントリーの案内チラシ
- ⑥受取りの様子（12月と2月に計4回開催:延べ117世帯が参加）

こども食堂マニュアルの作成



※「困りごとを抱えた子ども」などの相談先について、マニュアルに記載

※こども食堂等からの支援が必要な場合に、市の関係課で構成する会議で検討できる体制をとっている。

新たに見えてきた課題

ひとり親家庭へのサポート

- 対象家庭へのアプローチ
- アウトリーチ型支援

こども食堂の安定運営

- 行政、社協の支援(公助)
- 人、資金の確保(自助)

コーディネーターの役割

- こども食堂へ寄り添う体制づくり(公民館+民間)
- 知識、スキルの向上

今年度の取組み



- ・こども食堂ネットワーク会議
- ・コーディネーターの設置
- ・ひとり親家庭へのサポート

さらに



市、NPOが共働で
こども食堂マップ
を作成

こども食堂の場所、活動内容を
示した地図

将来の展望

子どもの居場所づくりは地域づくり

例えば

- ・ 公民館を子どもを真ん中に据えた場所にする取組み
- ・ 不登校児童、生徒が創造力を育てることができる場を増やす取組み

